

日 時	令和2年11月22日(日曜日) (14:00) ~ (16:00)
場 所	大庄北生涯学習プラザ3階ホール
資 料	<p>「第5回大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ レジメ」 「第4回大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ 会議記録」 「大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップ・公園部会 会議記録」 「公園部会における意見一覧」 「平成25年度から令和元年度まで(7年間)の公立学校児童数の推移」 「跡地活用に係る市の考え方(位置図)」 「大庄西中学校跡地における新しい公園を考える」 「新しく整備する公園やコミュニティースペースの方向性(議論の土台となるもの)について、実例を参考に役割分担を詳細に振り分けると以下のイメージ」 「コミュニティパーク事業の概要」 「福岡市コミュニティパーク事業の手引き」 「大庄《未来につなぐ》まちづくりワークショップの運営スケジュール」</p>
内 容 ・協議事項 ・決定事項 ・連絡事項 など	<p>1 第4回ワークショップ(公園部会を含む)の振り返りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4回ワークショップ、公園部会の会議録及び公園部会での意見一覧を配布、意見内容の確認を行う。 第4回ワークショップでの宿題返しとして児童数の推移平成25年度から修正分の配布、跡地活用における市の考え方について資料を基に市から説明。 質疑応答 質問なし <p>2 ワークショップ形式による各メンバーの意見 大庄西中学校跡地における新しい公園、福岡市におけるコミュニティパーク事業の事例紹介を市から説明。 (資料「大庄西中学校跡地における新しい公園を考える」、「コミュニティパーク事業の概要(福岡市)」に沿って説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 質疑応答 <p>参加者：資料「大庄西中学校跡地における新しい公園を考える」のコミュニティースペース(以下「CS」という。)は公園として位置付けられるのか。</p> <p>市：CSは公園ではない、CSだけの設置はできない。CSと一般公園が混在するといったものになると考える。</p> <p>参加者：資料「大庄西中学校跡地における新しい公園を考える」では南の口公園の面積が7,800㎡となっているが、市の考え方の位置図では5,100㎡となっている。どうして増えたのか。</p> <p>市：南の口公園の面積は7,800㎡である。市の考え方の位置図の面積は、道路やその他整備する部分で、定住・転入促進に直接活用できない部分を除外した、住宅開発用地の想定面積(5,100㎡)を示したものである。 南の口公園を廃止し大庄西中跡地に移設する場合、移設先の公園面積は元の南ノ口公園の面積(7,800㎡)より多い面積が必要となる。</p> <p>参加者：公園については、これまでも防災公園といった意見でまとまってきた。 CSなどこれまで頑張ってきた人達の思いが広がってきたが10年前の話が曲がってきた。 CSと公園が混在するような話になってきた。 資料「市の考え方」では確定したものでないとなっているが、我々の思いの位置づけはどこにあるのか。</p>

この考え方でまとめるのか、これまでWSでやってきた意見を混在させるのか。
7,800㎡の公園しか作らないように聞こえる。
不信感がある。

市 : この資料は、これまでのWSの中で市の考え方を示してほしいという意見があったため、市では、公園 10,000㎡、ふれあい体育館に 2,000㎡、定住・転入促進に 4,500㎡活用したい思いをまとめて宿題返しとして提示したものである。
新しい公園についてもいろんな意見を聞いてきた。
一般的な公園だけでなくこんな事例もあるとして資料提供したもの。
今日は大庄西中跡地で新しい公園をどうするのか議論をいただきたい。

参加者 : CSにするためには、担い手が必要。
若い人たちは担えるのか、どういった形でかわればいいのか、
例えば費用的なもの、CSでは費用負担も任せるので稼いでくれということになるのだろうか、それは体育館の指定管理になるのか。
若い人たちに専従してもらうことは難しいと思う。
時間的なことや費用的なことを考えると嫌がられる。
当事者になれるかどうか若い人が関与できるしくみづくりも必要。
CSはおもしろ広場と同じような仕組みなのか

市 : CSをやるとすれば課題となる部分も含めて、WSで話し合してほしい。

参加者 : 市の考え方の定住転入の 4,500㎡は来年3月（WSの最終）にここに入るのか。
その後市の方で入れるのか。そこをはっきりさせてほしい。

市 : WSは市の考え方の是非を問うものではない。地域の皆さんがどのような意見をもっているのかを聞かせてほしい。

(休憩10分)

○ 新しい公園について、ひとりひとり意見を言ってもらい、その後意見交換

参加者 : われわれが公園運営の主体となって話しをするのか。当事者になるということか。

市 : 当事者をどうするのかも含めて意見を聞きたい。協働公園、CSどちらも資金面の課題がクリアできれば、といった課題についても聞かせてほしい。

参加者 : 主な前提条件の中にある法律上公園と位置付けられる公園を設置すると書かれているのはあくまで前提条件として書かれているのでしょうか

市 : 移転するのであれば 7,800㎡以上が公園として必要だということ、公園とか協働公園とかいったものは 7,800㎡以上必要ということです。

参加者 : そこにCSはあたらないということか

市 : そうです。

参加者 : そういうことを踏まえて考えてみると、最初に出た協働公園からスタートがいいと思う。いずれはCSに移行できたらと思うが、そもそもCSに移行できるのかも不明なのでその辺も教えてほしい。

参加者 : 話の前提として南の口公園の移転で 7,800㎡、そのあとがCSの面積になると思

うのですが、市の考え方では 10,000 m²ということですので、残り 2,200 m²がCSになるのかなと考えている。

南の口公園が住宅になるのは理解できるが、大庄西中跡地の方の住宅はいるのかどうかははっきりさせてほしいと思う。

住宅になるかそれ以外の用途で使われるかによって、協働公園になるのかCSになるのか、またこれにどれだけの面積が必要で、どれだけを管理するのかが決まってくるので今日のうちにはっきりさせておく必要があると思います。

新しい公園については、将来的にはCSになり地域で運営できることがきれいなやり方になるのかなと思います。

スタート時はハードもなく面積もわからないので最初は行政も入って協働で進めることを踏まえて徐々に地域にもってくるのがいいと思う。

A3資料ではリスクとして失敗に終わった場合、公園に移行できないと書かれているが、成功した場合、協働公園からCSに移行できるのかどうか書かれていないのでその辺ははっきりさせてほしい。

参加者：協働型公園がいいと思う。CSは若い人になにかをしてほしいと思うけれど、若い人は時間的に無理だと思う。従って市と地域が協働で運営するのがいいと思う。

参加者：これまででああしたい、こうしたいと言ってきて、一番近い形が協働による公園のような気がする。ただ、協働による公園でおもしろ広場がやっているような活動ができるのか、そういったところの話し合いが必要かと思う。

参加者：協働公園といった意見が多いが、福岡のパンフレットを見ると、大庄でここまでやるのは大変ではないかと思う。

また、CSはおもしろ広場の活動に近いと思うが、協働公園ではサッカーなどの球技ができないのではないかと思う。そうすると前回話し合った内容は何だったんだろうという気にもなると思っている。

ここまで長引いていて、今更言うのもなんだが、面積をはっきりしてほしいということと、あと協働の公園にするのかCSにするのか普通の公園にするのか早く決めないといつまでたってもこの議論が進まない。

参加者：前提として 16,500 m²が公園ということで考えている。

協働というところが最適かと思うが、今まで 16,500 m²の中でおもしろ広場という形ががんばってこられたのでCSといった話があるのだろうと思う。

そういった中で 16,500 m²をどう利用するのかといったことを議論する必要があるのではないか。なお、私は 16,500 m²全体を公園にするのを前提に話をしている。

参加者：公園は前提となる広さが必要である。私の頭の中では売却しないということで決まっているので、売却しない状態で考えている。

後継者のことを考えないのであれば公園と合わせてCSがあってもいいではないかと思う。

参加者：ハイブリッド型がいいと思う。もし定住転入の住宅がくれば面積だけでなく周辺への配慮が必要になる。この土地で何ができるのかということ考えたときに非常に限定的なことしかできなくなると危惧する。

後継者の育成の点では、近隣、住宅、町会の合意が必要になってくるが、若い人（担い手）にはハードルが高くなりすぎてかなり難しいのではないかと思う。

そこで、ハイブリッド型にして、南ノ口公園との振替部分は協働型で、残りの部分は体育館を除き住宅も併せると 6,000 m²となり、この広さをCSとして運営する。

この運営によりここでお金が生み出され、そのお金を使いながら若者を育ててい

ける。また、ここだけでなく新しい体育館を協働型の委託事業をおこなうなどで、こういった人材を生み出すことができると思っている。
そういった人を育てるということであれば、精いっぱい協力したいと考えている。

市 : まとめると協働型が5人、協働型プラスCS1人、ハイブリッド型が1人、早く決めたいが1人というところだったと思う。
その他の意見として、公園の面積はどうなるのか、売却の問題はどう考えているのか、公園の面積は16,500㎡が前提でいいのか、などであった。

市 : 市の考え方は今日示したとおりであり、公園も必要、新しい体育館も必要、定住転入も必要だということである。
それぞれの概ねの面積もここに示したものが市の考え方である。
何度も言うがWSではこれらを決める場ではないということからスタートしている。決めてほしいという意見もわかるがここでは決めないということを進めている。他に補足があれば大庄地域課からお願いしたい。

市 : 現状の市の考え方を答えてもらった。
今日は、新しい公園はどんなものか意見をいただきたいと思う。

参加者 : まず、面積ですが、公園の指定されている面積は決まっているわけで7,800㎡以上なければならないとなっている。すると市の考え方でいくと公園は10,000㎡となっていて、CSには2,200㎡しかとれないことになる。
この形で考えるのか、あと16,500㎡すべてを公園として考えるのかで大きく変わってくる。
市の考え方の面積でCSができるかわからない。

参加者 : 自分たちが16,500㎡で考えたことが後になってくつがえることがあれば、それは時間のムダだし、合理的ではない。

市 : 少し財政の側面からお話しさせていただきたい。
提案させていただいた市の考え方の中でも定住転入について、人口減少は市にとって深刻な状況にある。
特に大庄地区の人口減少が激しく、児童の数も少なくなっている。
これらを解決していくことは市においても非常に大きな重点課題になっている。
また、公園の整備であるが、どの大きさを公園を整備するにしても、限られた財源で行うことになる。大きければ大きいほどお金がかかるということは当然である。
ここで住宅開発を提案しているのは、人口問題に対する一番大きな課題解決の手段であるのと同時に、財源確保という側面も持っている。
16,500㎡全体を公園なりCSに整備するにしても財源は必要であり、公園の一部をこういった財源確保に利用することでよりグレードの高い公園などができると考えている。
売却面積が減ると当然確保できる財源も減るので、ここにかかる財源も減ることになるのでそういったことも含めてみなさんに議論いただきたい。
すべてを公園として活用するのも一つの考え方だろうと思うので否定はしない。しかし、掛けられるお金にも限界があるということを知りながら検討していただきたい。

参加者 : まずここは民間に売却しないということになっている。児童が減っていることについては、住宅開発することで児童数は一瞬増えることになるが10年、20年経つとその子らが出ていくので同じことになる。
そういうことを考えるのであれば、他に空き家対策なりで増やすとか、市はほか

に考えることがたくさんあるのではないかと思います。

参加者：財政面で話すと、もうひとつ前に戻らなければならない。
大庄地区は学校統廃合でふたつの中学校、ひとつの小学校を統合して、その財源自体が運用されているはず。
そのなかでこの大庄西中学校跡地はコミュニティーの中心となるということで地域合意をして現在に至っているはずなので、今になって財政の話がだされると既に宅地になっている所やいろんな事業として使っているところなどがある。
こういった前提があるので、ほかの地区でどれだけ統廃合して売却してきたかということと合わせて考えていかないと、現段階の話で残っている土地の部分だけでなく、10年20年かかってやってきた長年のところの計画の話の紐解かないと、ここだけの部分の話だけではないと思う。

市：質問いただいたことについて、ポイント2点ほどあつたのかと考えます。
1点目、空き家問題について。
空き家対策は本市都市整備局の住宅部局で様々な対策を講じている。
空き家は空き家で対策を講じている中で、国（国交省）が行う住宅市場動向調査によればファミリー世帯、30代、40代は新築を好む傾向にあり、中古住宅の購入は極めて少ないとの実態の調査報告が出ている。
空き家を利活用する対策もそれはそれで大切だと考え、改修補助を出すなどしているが、やはり新築住宅を供給していくのが効果的であるという一般的な調査結果が出ているのでそちらを進めていきたいと考えている。
なお、過去のデータになるが、小田地区で常光寺小学校跡地を住宅開発した際には、跡地だけではなく周辺にも開発が波及し町全体が活性化した事例もある。
こういったことから一定住宅開発も進めていきたいと考えている。
もう一点は統廃合の話について。
学校の統廃合は財源を生み出すためにやるものではない。
一番の目的は学習環境を維持するという、一学年一クラスしかない学校で子供が勉強するのがいいことなのかということを含めて、学校規模は一定の規模を保たなければいけないということから統廃合を進めてきたのが主な理由である。
統廃合で生み出された財源については、大庄では西中と東中が統合されて大庄中となっている。西中はまだ売却も大半できていないので、生み出された財源もほとんどない。学校に関する事業費が若干出ているのかもしれないが、教員の人件費、教員については県からの負担ですので市の方には効果が出ていない。
従ってそれから出てくる財源はほとんど出ていないというのが現実である。

市：大庄西中の跡地の売却はないという意見について、10年前の報告書にないから売却は書いていないということをおっしゃっているのだと思う。
報告書については、このWSの初めに抜粋を示していて、その中を読むと売却ということが書かれていないことは一目瞭然であり我々も否定しない。
ただ、今回WSを進めるにあたり児童の推移の話と人口減少の話をさせていただいたが、この10年で大庄地区は他地区と比べてどうなったのかを今日的に考えたところ、大庄西中跡地へのファミリー層の定住転入も一定必要であろうというのが今の市の考え方である。
市民委員会の報告書に売却のことが書かれているか書かれていないかといえば書かれていない。
ただ10年たった今、改めてWSをするにあたってこういう状況（児童数が少なくなっている、人口も減少している）が明らかになっており、市としてはこれに対する施策が必要だと考えている。
もう一つ、住宅にしたからすべてが解決できると安易に考えているわけではない。
ファミリー層の定住転入は市の最重要課題として考えているが、いっの一番に市の土地を住宅にしておくと考えてはいない。

もちろんまちの魅力を高めるのも必要です。教育環境学力を上げることも必要だと市長も言っている。

治安維持や、市のイメージアップ、シチズンシップの向上といったいろんな施策をやっていく中で、その目的の一つとしてファミリー層の定住転入がある。改めて我々がやっていることは住宅として売ればいいと安易に考えているわけではないということを申し添えたい。

なお、今日のWSはもう少し新たな公園に関してもう少し時間をかけたい。ゾーンニングについては何度も言うが、現時点では市の考え方しかお伝え出来ないで、規模がわからないから話ができないといったことにならないようお願いしたい。

参加者：部長がおっしゃったことについて、我々は当事者となるのですが、市の施策として統廃合した後の地域の活性化をしようという意欲がありましたか。

はっきり言って置き去りの状態で、人が集まってくるような状況のような施策をやられたんですか。

我々は武庫川あるいはセンタープールに人が集まるような施策の計画も参画しました。ただ、統廃合して土地を売ってしまった今、マンションとかがありますがそれだけのことで、それはそれでお金になっているはずで。

物が建てば税金が入ってくる。

若葉小学校においても西と統合しましたけれど、消防署が移転して跡地は処分することになると思う。

その中で学校が来ることで活性化することは我々が望んでいたことですが、果たして地域が望んでいる施策として市は何かしてくださいましたか。

そこのところ勘違いされたら困る。

最初この資料を渡されたときになぜ学校の児童数をいちいち書いているのかわからなかったが、そういうことが言いたかったのなと思いました。

確かに財政上の問題とかあるが、この話の内容は別ではないかと思う。

私は 16,500 m²の土地を前提で考えているわけです。

そこで、これをやるのに財政が困難だと言われれば、我々が話し合っていることとから逸れて行くのではないかと思います。根本的に全体利用は考えていないということをおっしゃっているのかなと感じます。

そこのところ明確にされたらいいのではないかと思います。

これだけしかできないとおっしゃったらいかがですか。

市：今は市がどういった施策を講じるかということをおっしゃっているのかと思いますが。

参加者：私が言っているのは、尼崎において潮江のような努力をされてきた。

いろんなことを市が努力されてきたが何か変わりましたか？

啓明中学校がなくなった後なにかしていただきましたか。

そういう意味からすると人の集まるような環境整備というのは市としてやっていただくことが我々の望んでいることだと思うのです。

先ほど言われた形で言われたら疑問が残りますね。

はっきり言って学校がなくなるということは活性化が非常に重い状態になるし、土地の価格も落ちる。

やはり学校がある病院がある買い物する場がある、そういった場所があり、それらを結ぶアクセスがあつてこそ人が集まります。

もともと、そういうところでは学校がなくなることはなかったのかも知れません。

そういう意味では要するにそういうご努力もされてこなかったのではないかと思います。先ほどのような話をされると。

我々は地域の代表としてそういった努力もしたこともあります。そういった涙ぐましい努力を地域の中でやっているということをご理解いただきたいと思います。

市 : 当然、市としても人口問題とか様々な取り組みをしてきている。各地域特徴があるのでそれぞれの地域の実情に合った取り組みをしなければいけないと考えている。

特に大庄地区は今人口減少と児童数が減っているということが激しい、その中で学校統合、学校が減るということは悲しいことかもしれないが、やはり子供の学習環境も維持するということも必要なことから、やむなく統合しているということもあるとご理解いただきたい。

参加者 : 話の中で財政の話で、あまりお金が生まれていないということたくさんのお金があるということでした。これらをもう少し整理して、我々がよしとしている、北の方の公園を売る、北プラザができることにより大庄支所が売れる。ふれあい体育館が来ることで千代木園が売れる、大庄地区体育館が売れる。

こう見るとたくさんのお金の公共用地が売却になると思うんです。

どれだけお金がかけられるかの話でも、何も我々すごい贅沢な公園を作ってくれと言っているわけではない。

地域みんなが協力すればお金をかけないで本当に魅力のある公園が作れるのではないかと、そういった淡い思いを持ちながら力を合わせたらどうなるんだろうといった議論を本当はしたいと思っている。

それをお金がないということで切られてしまうのでは、納得できるものもできない。そろそろこういった話は終わってほしいと思う。

市 : 今日新たな公園について方向性を見出せたらということでご議論いただきました。地域の声とすれば10年前の報告では、全て公園にしたいということで確かに売却はなかったのでしょうか。前提条件となる公園の面積が決まっていますが、面積的には7,800㎡以上必要だということなんです。

市の施策としては定住転入を促進したいといった一定の考え方があり、最終的には市が決めるのでしようが、WSを運営する者としては、皆さんに集まっていたいただいた目的として意見を取りまとめていきたい。

物事どちらが先に決まっていくのかということもありますが、少なくとも南の口公園は大庄西中跡地に移転するということまでは一致したかと思えます。

全部決まってから議論するのがいいのかも知れませんが、堂々巡りの話で進めることもできないので、少なくとも7,800㎡以上の公園でCSを取るのか取らないのか、4つの方向性を資料で確認いただけたらと思えます。この方向性は、市が決めるということではなく、WSメンバーで地域にとってどんな公園がいいのかという議論に戻りたいと思う。

何も決まってないのに議論しにくいという意見もわかりますが。

参加者 : おかしいでしょう。全体やっけても、財源上無理なんていわれて。

どれが答えなのかはっきりしたらいいのではないか

初めに戻ってしまったのではないか

(お金) これだけしかないのであればこれしかないとおっしゃればいい。

そこがなくなったら我々議論もできない。

どのくらいまでしかないのも、分かってたんでしょ。

市 : 市の方では公園面積が最小で7,800㎡として、市は一定の提案をしています、その他はCSとして使うのか、皆さんが考える活用の議論をしていただきたいと考えています。

それをもって、市の考えている提案よりも皆さんの考えている提案の方がまちづくりとして魅力的であれば当然市としても考えていきたいと思えます。

市 : 先ほどお金の話をしましたが、お金第一で考えているのではないということをご理解いただきたい。

いくらい公園を作って、いろんなことを整備しても、それを使う子供とかが少なかったらいいものを作っても効果が薄いと考えている。
それは人口を増やして子どもの数を確保した上でいいものを作って、賑わいのある公園があって初めて地域の活性化がなりたつのかなと思っている。
そういう意味でも一定の住宅開発は必要かなという観点で見ている。
売却によって生まれるお金は2次的なものなので、そこを第一に考えているわけではない。そこをご理解いただきたい。
そこまで私たちは思っていない。
だから 16,500 m²全部を公園なり、CS などの選択が当然あっていいと思っている。
しかし、限られた財源の中で整備するのですから、当然限られた制約の中でできるものできないものは最終的に市の方で判断させてもらうことになるが、よりいいものを作るのであれば、一定の財源を確保した上からでないといけないという現実があることもご理解いただきたいという意味で申し上げたものである。

市 : 何度も言うが、資料説明でも申し上げたように、今日のWSは新たな公園をどのようにしていくのかが今日の肝だと思っている。
規模の話が出ているが、それは堂々巡りの話で、今日の段階でこうですと言えることはないの、このまま話をすすめても時間の浪費になるだけだと思う。
今日の話は新しい公園をどうしていくのか、特に今までのWSで出てきた、例えばボール遊びがしたいとか野菜作っているよとか、高齢者の方々がこんなことしているよとか、ドッグランしたいよとか、いろんな意見をいただいてそれが実現できる方法として市としては今回協働の公園とCSとどうですかということで提案した。
このWSの中で出てきたみたいにこの13人の方が協働公園なりCSをやるという主になるわけではないかも知れないが、少なくともこの13人の方が深くご議論いただいているので、まずこの新しい公園をどのようにするのかを今日は話し合っていきたいと思いますがいかがか。

市 : みなさんにお話しいただいた中で、質問が少し残っていましたが、協働型公園を実施した後に、ある程度うまくいったらCSに切り替えることはできるのか。ということ、協働型公園ではCSのような球技などはできないのかといったことについて。少しこのあたりの説明を今の段階でできるかどうか、可能な範囲で結構ですのでどうでしょうか。

市 : おもしろ広場の活動が協働型の公園で継続できるのかということで、ボール遊びも難しくなるのではないかとありますが。
今、私が思っていますのは地域でルールをみなさんと共有できれば、おもしろ広場でできていることは都市公園であっても可能かと思えます。
あくまで市内一律のルールというものは、苦情であったりまわりの声を拾ってきてもみなさんのおっしゃる使いにくい公園になってきてしまっているのも事実です。
今おもしろ広場で地域のご理解をいただいているように、公園であっても地域として合意形成があれば同じ活動はできるのではないかと考えています。
ボール遊びについても一定の広さがないとできないと中身には制約ができるかと思えますが福岡の例で行きますと利用調整している。
例えば時間を決めて、野球やサッカーをするなど利用調整をしていただければボール遊びも球技も十分できるのかなと思えます。
また、協働の公園からCSに成功したときに移行できるかなということですが、公園の面積は減らせないので、現実的に都市公園と位置付けたものを廃止してCSにするというのは難しいです。
協働型につきましても市の方もこうすべきだということについて、今まさに研究し始めたところです。

今ご議論いただいているみなさんとこれでいくと決めるのは無理だと思います。ただ、市の方でもこういった部会であったり WS であったりで使い勝手のいい制約の少ない公園が欲しいなという声をたくさんいただきましたので、市としましては市だけで考えるわけにはいきませんので、時間をかけて協働型の公園ができないかチャレンジはしたいと思っています。

おそらく協働型の公園だからといって施設整備的に言いまして一般の公園だからこんな形、協働型の公園だからこんな形といった違いはあまりないのかなと思いますので、運営の仕方の問題になってくるかと思しますのでここにおられる皆さんに後押ししていただいて地域の方も行政といっしょにチャレンジして協働型に向けて議論を深めていければと思っています。

その議論を一年した後にはやはり参加者さんのおっしゃっているように費用の面であったり、超えられないハードルがあるといったことがわかれば一般の公園になってしまうかも知れないですが、そういったことも踏まえてご議論いただければと思います。

市 : 時間の方も来たので、次回のWSでは体育館といった議論にも入りたかったのですが、次回協働型公園について、4つの方向性について引き続き議論をいただきたいと思っています。皆さんが地域としてこういった活用がいいという一定の方向性を見つけたいと思っています。

次回のWSはこういった形で進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。

市 : みなさんのご意見から協働型公園と協働型とCSの混在型の2つになるのかと思いますが、この辺から初めていっていきような形でよろしいでしょうか。

では、それで進めていくということで

市 : 次回は今日の続きの部分とできたら体育館の話にも入らせていただけたらと思います。

以 上